

やまだんの
山田野

58

独立行政法人 北陸病院
国立病院機構

〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460



つかの間の青い空
春が待ち遠しい

当院 とある日の風景

令和6年 年頭所感



NHO 北陸病院 院長 吉田 光宏 NHO

あけましておめでとうございます。今年は、初日の出を無事拝めましたが、夕方に能登半島で震災があり、翌日には羽田空港で旅客機事故など、大きな災害が続きました。あまりにも多くの犠牲、今なお苦しい状況にある方も多い中で、言葉ありませんが、DPATや後方支援として、職員一同当院でできる限りの対応をしたいと思えます。

自然災害やヒューマンエラーによる事故は、“零”にすることは難しいですが、事前の備えとその後の対応によって、被害を軽減できます。これは、医療の分野でも重要で、能登半島地震や炎上するJAL機からの避難映像を見て、改めて医療安全対策の重要性が再認識されました。当院は、昨年に第23回富山県公的病院医療安全研究大会を主催し、この大会にポスター発表を初めて導入し、橋本副院長のもとで職員が一丸となり大会を成功裏に終えることができました。ポスター発表の形態は次の医療安全大会でも引き継がれていきます。症状緩和や改善を期待して、病院に来られる患者さんが来院・入院されたことで、自然経過ではなく病状が悪くなるようなことがないようしないといけません。

また、近年、ACP・人生会議が啓発され普及し、臨床倫理が重要なテーマとなっています。臨床倫理に関しては、検査や治療に関して、患者本人が、知識不足等から、本来望んでないことを医療者が行わないようにしないといけません。医療者自身が受けたいと思わないような延命処置、治療差し控え、緩和ケアの在り方などについて考えていく必要があります。

第三に、AIが各分野に導入され始め、医療DXが言われています。当院は、いまだに紙カルテですが、2年後に電子カルテに移行する予定で、2024年は、これに向けて準備を進める年になる予定です。災害等で、インフラがダメージを受けた時には、電子カルテは、使えませんが、時代の大きな流れには逆らえません。多くの分野で、AIが導入され、自動車の自動運転が日本各地で可能となるころには、医療分野でも、仕事の軽減がはかられ、働き方にドラスチックな変化が訪れることでしょう。

今年の当院での診療面でのビジョンを共有したいと思います。私が、当院に赴任した12年前の北陸病院は、伸びしろしかない素晴らしい病院という印象でした。2024年を迎えて成長した現在の北陸病院は、今なお、伸びしろしか感じられません。

認知症疾患医療センターでは、認知症の初期診断と薬物治療、在宅療養のサポート、自宅や施設で対応困難なBPSDの治療・対応を行ってきましたが、昨年末に疾患修飾薬が使用可能になり、これらのニーズに応えるため、従来の活動に加え、ごく軽度の認知障害のスクリーニングを中心とした外来設置や、今後も上市されるであろう新規疾患修飾薬治療の受け入れ態勢を近隣医療機関、PETセンターと連携しながら構築していきます。

神経難病医療においては、運動障害を中心とした神経難病に関して、診断・治療において、今以上に地域から信頼されるよう診療レベルアップをはかり、情報発信をしていきます。

精神科・神経科においては、当院の睡眠医療センターは、富山県唯一の日本睡眠学会認定の施設であり、未だに受診に至らない潜在的な睡眠関連障がいも多く、これらに関して啓発、周知を図り、患者さんの生活の質の向上をはかります。また、医療観察法病棟においては、既存のシステムや診療体制の見直しを含め、さらなる診療レベルアップを期待したいと思います。

昨年度は、当院のブランディングの一環として、「病院理念」を更新し、ホームページ等の広報を中心に周知をはかり、広大な敷地活用や樹木、神社の整備などを行う予定でしたが、病院ホームページのリニューアル含め予定どおり進みませんでした。今年は、こういった課題に積極的に取り組みますので、皆様のご協力をお願いいたします。

では、新しい時代への橋渡しとなりそうな2024年もよろしく願い申し上げます。

統括診療部



第2神経科専攻医
竹内 稜太

趣味 カヌー・料理

抱負 いつもご迷惑ばかりおかけしていますが、みなさまのおかげで当院での業務にも慣れてきました。残りわずかですが、地域社会から求められる医療を提供していけるよう、努力して参ります。



第2神経科専攻医
土田 航祐

趣味 カメラ・旅行

抱負 10月から赴任しました精神科の土田です。皆様の健康を誠心誠意サポートさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

採用職員紹介



西1階病棟



看護師
古川 愛菜

趣味 旅行

抱負 患者さんに寄り添った看護ができるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



療養介助専門員
中本さおり

趣味 温泉でのんびりすること

抱負 不慣れで至らぬ点多くご迷惑をお掛けしますが、早く一人前になれるようがんばりますのでよろしくお願い致します。

西1階病棟にハローキティが遊びにきてくれました。

地域医療連携室

医療社会事業専門員 善端 恭子



2023年11月28日、当院西1階病棟（重症心身障害児者病棟）にハローキティが遊びにきてくれました。この訪問活動は株式会社サンリオ様の社会貢献活動「Sanrio Nakayoku Project」のSanrio Character Aid（キャラクター訪問による心のふれあい）の一環として、直前まで患者様、職員にも「ナイショ」にしていたため、当日は病棟全体で「びっくり」「ドキドキ」。

ハローキティを目にして「すごい」「かわいい」と盛り上がり、ハローキティの音楽に合わせたダンスを見て、全員に笑顔が咲いたとても楽しい時間となりました。

患者様の表情・反応は、今までに見せたことのないものも多く、職員にとっても心あたたまる嬉しい時間となりました。

株式会社サンリオ様の社会貢献活動「Sanrio Nakayoku Project」につきましては、サンリオ様のホームページ上にて紹介されていますので、当院訪問の記事についてもご覧いただければ幸いです。



© 2024 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. GS640002



令和5年度 合同文化祭

西1階病棟 看護師長 山本 美保

令和5年10月26・27日の二日間、合同文化祭が開催されました。10月26日は各病棟、デイケアにて作成した、作品の鑑賞を行いました。どの部署も、力作が多く素晴らしい展示でした。

10月27日は「南砺メディカル合奏団」の方にお越し頂き、とても心に響く素晴らしい演奏会となりました。コロナ禍後で久しぶりの外部の方々の演奏だったので、参加された患者さんはどの方も表情よく、演奏に耳を傾け、手を叩いたり、盛大な拍手をされたりされ、最後はアンコールと盛り上がり楽しい時間となりました。

今後もこのような素晴らしい会が開催できることを望みます。

外来担当医表

※令和5年10月より下記に変更

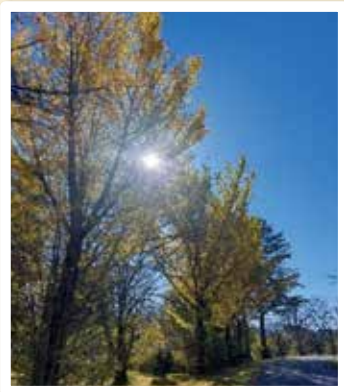
| 項目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----------|--|-------|---|---------------------|---------------------|
| 精神科（初診） | 池田・志摩(1,3,5)土田(2,4) | 安本・志摩 | 白石・池田 | 湯浅・安本(1,3,5)白石(2,4) | 橋本・湯浅(1,3,5)竹内(2,4) |
| 精神科（再診） | 安本・橋本 | 白石・池田 | 湯浅・土田・竹内 | 土田・竹内 | 池田・志摩 |
| 脳神経内科 | 吉田 | 小竹 | 小竹 | 吉田 | 高橋 |
| 内科 | | 渡辺 | 渡辺 | | |
| 心療内科 | | | 白石 | 白石（節酒外来） | |
| 睡眠外来（初診） | | | 細川 | 細川、吉田（4） | |
| 睡眠外来（再診） | 吉田 | 細川 | 細川 | | |
| 専門外来 | もの忘れ外来（吉田・橋本・池田・志摩・湯浅） パーキンソン病外来（吉田・小竹） 重症心身障害児<者>外来（石崎・池田） 認知行動療法外来（うつ、不眠）（白石） | | 認知症セカンドオピニオン外来（吉田） 遺伝カウンセリング外来（小竹） 禁煙外来（白石） 節酒外来（白石） | | |

- 診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。
- 受付時間・・・8:30～11:30 診療時間・・・9:00～12:00

【地域医療連携室 直通電話】 **0763-62-1950**

当院の 日常風景 紹介

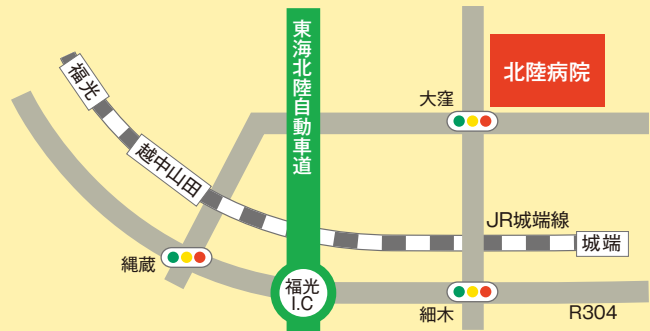
東京ドーム4個分程の当院の敷地・・・
春は、桜に始まり、紫陽花、山葡萄、彼岸花、栗、野バラ、蓮etc.と四季折々の景色を楽しむことが出来ます。
秋は銀杏が色づきました。
毎年、近所のパン屋さんが当院の落ち葉で落ち葉アートを作成。今年はプーさんでした。



2月になり梅が咲き始めました。
3月末には桜も咲き始めます。
是非、お散歩がてら愛でにいらしてください。

【交通アクセス】

- ◆交通機関
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。
- ◆高速道路
東海北陸自動車道、福光ICより約5分。
- ◆南砺市コミュニティーバス
JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <https://hokuriku.hosp.go.jp/>

認知症疾患医療センター

睡眠医療センター

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】池田・八反・柴田・吉田